



**初の取り組みに参加**  
3年生応募前サマーガイダンス

和歌山県下の全就職希望者約2000人が参加。県初の取り組みとして6月19日(金)に2015応募前サマーガイダンスが和歌山市ビッグホール(和歌山市手平2-1-1)にて開催された。本校からは計75人の就職希望者が2台の観光バスに分乗して早朝より遠路を移動、仁阪知事による開会の言葉のあと、参加111社が20分ずつ5回の説明会を各ブースにて実施、生徒たちは事前に申し込んでいた第1



から第4までの希望に基づいて各企業の説明を熱心に聞き入った。参加した生徒の中には



早朝6時過ぎから夜9時半におよぶかなりの長時間に渡るハードワークとなるものもいたが、それぞれが将来に向けての進路意識をしっかりと高めつつ研修を受けることができた、たいへん有意義な一日となった。

新FLT紹介

ジェイコブ・マーテンスさん

本年度4月、本校を拠点校として新しいFLT (Foreign Language Teacher [外国語指導講師]) Jacob Martens (ジェイコブ・マーテンス)さんが配属された。現在1~3年の全学年にチームティーチングでコミュニケーション活動をふんだんに取り入れた楽しい英語の授業を展開してくれている。



ジェイコブ先生はアメリカ合衆国イリノイ州出身の26歳で、趣味は読書とハイキング。大学では歴史学を専攻したというインテリジェンスの持ち主だが、礼儀正しく穏やかなものごしで生徒たちの間でも人気となっている。一週間の勤務は、水・木・金曜がベース校新翔高校、月曜が新宮高校定時制、火曜がみくまの支援学校となっている。

本年度から和歌山県全体に外国語指導講師の配属が大幅に増員され、県下の生徒たちにとって生きた英語を学ぶ機会がたいへん充実してきている。本校でも、授業だけでなく休憩時間などにも積極的にFLTに接することで楽しく実践的な英語を身につけるチャンスとさせたい。以下はジェイコブ先生直筆の英語と日本語によるメッセージ。

I am very happy to be living here in Shingu. The thing I most want to tell my students is "Don't give up!". There is no shortcut to learning a language. But if you study and practice a lot, you will definitely be able to speak English well.

新宮に住む事はすごく大好きです。生徒へ一番伝えたい事は「あきらめなさい」です。外国語を学ぶ近道はありません。でも本気で勉強して、たくさん練習したら、きっと英語をペラペラ話すようになります。

形如不照

京都府立 久保夏次

**「脚下照顧」**  
「足下を照らし、よくかえりみよ」という事。誰しも自分には甘い。自分のことは自分が一番よくわかっているつもりでも、人に言われないと気付かない所もたくさんあります。私もそうですが、生徒のみなさんも、まず自分の足下をよく見通して反省し、自分自身を見つめ直しながらか過して謙虚な気持ちを持ち続けましょう。

紀三井寺での活躍誓う



硬式野球部壮行会



7月9日に開幕する第97回全国高等学校野球選手権和歌山大会に出場する硬式野球部を激励するため、25日、全校生徒による壮行会が体育館にて行われた。

「新翔高校」となってからの夏の選手権大会和歌山大会の記録

平成19年 (第89回大会)	1回戦	0-12南部
平成20年 (第90回大会)	1回戦	0-2紀北農芸
平成21年 (第91回大会)	1回戦	1-4高野山
平成22年 (第92回大会)	2回戦	3-8伊都
平成23年 (第93回大会)	2回戦	1-4高野山
平成24年 (第94回大会)	2回戦	0-6向陽
	2回戦	0-6南部
平成25年 (第95回大会)	2回戦	1-2和歌山工業
平成26年 (第96回大会)	2回戦	3-4有田中央

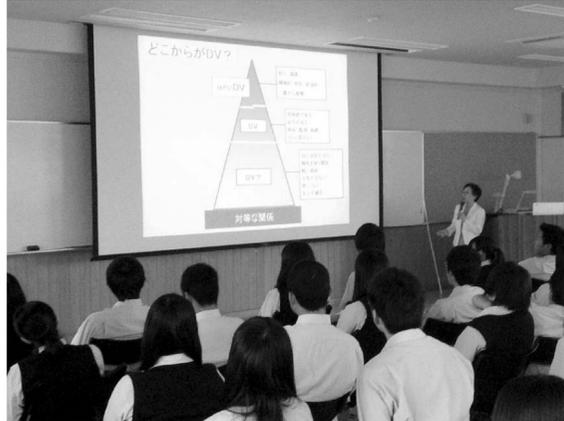
「新翔高校」となってからの夏の選手権大会和歌山大会の記録。今年夏の第1回選手権大会が1915年に大阪の豊中球場で行われてからちょうど100年目にあたる高校野球節目の記念の年。白球を無我夢中で追いかける高校野球のすばらしさをあらためて認識し、さらにサポートをいただく学校や東牟婁地域を盛り上げ元気づけるためにも「100年目の野球少年たち」の紀三井寺での活躍にぜひ期待したい。

月刊 新翔タイムズ

第84号  
新翔タイムズ  
編集室  
発行・熊野新聞社

平成27年度「明るい町づくり」標語

新宮市校外指導協議会と市立少年相談センターが主催して毎年市内の小中高を中心に募集される「明るい町づくり」の標語。全校生徒の作品の中から、アイデアとセンスを豊かに織り込んだ本年度校内代表6作品が決定。応募の後、8日の審査会を経て、出展各校につき1点ずつ選ばれた特選標語として3年笹木君の作品「SNS なくともつながる皆の笑顔」が見事選ばれた。7月1日には少年相談センターにて表彰式が行われる。



尊重と対等の人間関係を

人権教育「デートDV防止講演」

ウィメンスタディ熊野代表の村上恵美子さんを講師にお招きし、2年生を対象としたデートDV防止講演が6月18日(木)午後、キャリア実習室で行われた。50分という限られた時間の中、パワーポイントを用いた口調の中にも熱のこもった

生徒たちへメッセージ

教育実習の2人の先生



6月8日(月)から19日(金)の2週間に渡って本年度の教育実習が実施され、芸術科(書道)ホームルーム活動等で研修を積まれた。

実習のまとめとして行われた研究授業において、2週間の実習を終えられたにあたり、新翔高校の先生たちへのメッセージが寄せられ、生徒たちも凛々とした雰囲気の中、しっかりと集中して

「随所作主」

どこであろうと、どの道を選ぼうと、常に自分の本文を忘れず主体性をもって事にあたれば真実の道に通じるという意味。高校生の皆さんも近い将来、どんな立場に遭遇しようとも逃げ腰にならず全力で努力しましょう。

随處  
任主

東京学芸大学 西真優

知ってほしいな、ホントに大切なコト



人間関係)について、生徒としてしっかりと受け止めるは自分たち自身の問題と